

多職種連携で取り組むフットケアチームの活動報告

【目的】コメディカルと協働し患者自身の意識・知識の向上を促し、早期発見、早期治療に繋げること。

【対象】当院の通院維持透析患者 216 名。

【方法】臨床工学技士と看護師でフットケアチームを再編成し、ケア、治療のフットケアリーダーとして活動した。月 1 回フットケアチームで会議を開催し、フットチェックに対して改善を行った。フットケアチーム、企画広報課で患者向けのパンフレットの作成に取り組む。

【活動内容】臨床工学技士と看護師が協働してフットチェックを行い、月の実施割合が活動の前月と比較して 27%から 93%と急増した。今年に入ってから毎月 98~99%で安定し実施出来ている。これによって 2 年間の関連診療機関への紹介件数が増加した。また受診や治療が必要になることで患者家族やケアマネとの連携、それに伴い MSW との連携の機会も増加した。患者が理解し足の異常に気付くことが出来るよう意識しパンフレットの作成に取り組む。

【おわりに】多職種間の良好な関係性、患者自身の意識・知識の向上により早期発見、早期治療に繋がることを期待する。